

一般社団法人日本臨床発達心理士会 2024 年度事業報告

■社員総会

- ・ 6 月 23 日 八重洲 AP 会議室において定時社員総会を開催。
23 年度事業報告、会計関係計算書類を承認

■監査

- ・ 2025 年 5 月 24 日 国際文献社アカデミーセンターにて監査

■理事会

- ・ 社員総会に引き続き第 1 回理事会開催
- ・ 10 月 12 日 ZOOM にて第 2 回理事会開催
- ・ 2025 年 2 月 16 日 ZOOM にて第 3 回理事会開催
2025 年度事業計画、予算の採択
「質量ともに大きな士会を作ろう」の呼びかけ
- ・ 理事会内委員会 会計委員会 5 月 30 日、2 月 5 日、5 月
活動検討委員会 1 月 28 日、
役員組織委員会 5 月 28 日、7 月 7 日、2 月 1 日
それぞれ ZOOM にて開催

■説明会等

- 支部事務局長・会計担当会議 11 月 30 日
- 会計説明会 5 月 27 日

■執行部会

- ・ 定例の執行部会を毎月 1 回 ZOOM により計 12 回開催
- ・ 随時 メールでのやりとりの実施
- ・ 機構との協議 11 月 29 日
- ・ 国際文献社と会計についての協議 2025 年 5 月 20 日
- ・ 新潟支部に関する関係 3 支部会議 9 月 19 日
- ・ 発達障害の支援を考える議員連盟総会に尾崎副理事長が出席、2025 年 4 月 23 日
- ・ 【声明】正しい発達障害の理解を広め、臨床発達心理士の社会的役割を訴えます。—今話題になっている「職場における発達障害のある方等への関わり方」に関する「啓発本」なる

ものに関連して一 発出 2025年4月25日

- ・事務局会議を月一回程度 10回開催

■関係他団体

- ・JDD ネット 理事・他職種連携委員を派遣
情報を適宜会内に広報
3月20日 人材育成研修会冬季第3回講座講師(西山剛司)
- ・SC 推進協議会 副理事長・理事を派遣
ガイダンスカウンセラーに本会会員12名を推薦 全員資格取得
本会(旧士会)元幹事長荘巖俊哉氏が國分康孝スクールカウンセリング賞
貢献賞を受賞
「スクールカウンセリング専門研修プログラム」策定に関与。近藤理事長、
尾崎副理事長ら本会会員も多数講師
「文科省委託事業・心理に強い教員養成プログラム」策定に関与
近藤理事長 西山専務理事がテキスト執筆・研修会講師

■研修会 (詳細は別紙) ()内は2023年度

- ・全国研修会 17(13)回
総申込者数 2651(1834)名 参加者数 2443(1742)名 ポイント請求数 2061(1621)名
- ・支部主催研修会 29(50)回
総申込者数 2586(2902)名 参加者数 2287(2755)名 ポイント請求数 2136(2565)名
- ・開催方法(全国・支部の合計)
 - ZOOMによるライブ配信 23(26)回
 - 現地対面開催 16(22)回
 - ハイブリッド開催(対面現地開催+ライブ配信) 2(11)回
 - サテライト会場あり 2(2)回
 - e-learning(6講座) 2(1)回
 - オンデマンド+ライブ配信 2(1)回

■全国大会

- ・8月24日~25日 信州大学教育キャンパスを会場に第20回全国大会を開催
オンデマンド配信期間 8月24日~9月15日
- ・受け入れ支部 長野支部
 - 公開シンポ 2(1) 参加者 572+486(544)
(内一般参加 189+148(87名) 内現地参加者 40+45(72名))
 - 企画シンポ 4(4)

セミナーA 4(5)
セミナーB 1(1)
実践研究発表 14(6)発表 5(2)セッション
職能向上セミナー 7セッション
情報交換会 5セッション
理事長挨拶、会務報告、次回開催地挨拶
参加者 1063(1194)名 ポイント請求者数 945(1071)名

- ・全国大会運営委員会隔月で開催
- ・全国大会運営コア会議隔月で開催
- ・埼玉大会に向けての大会運営委員会、月例で第二木曜日午前中に開催
- ・5月6日 次期大会に向けて大宮ソニックシティー下見

■ 研修会・大会会わせた参加者数とポイント請求数

・総参加者数 5793(5691) 総ポイント請求者数 5252(5257)
総ポイント請求数(推計) 7100(7300) $7100/3900=1.8$
5年間で10ポイント獲得するとすれば、ほぼ飽和

■ 「臨床発達心理実践研究」

- ・7月 19巻1号 発行
- ・12月 19巻2号 発行

■ 広報活動

- ・士会ウェブサイトの運営
- ・メールマガジン164号から187号まで発行
- ・官公庁向けの士会紹介リーフ作成
- ・新規資格取得者向けの入会案内リーフ作成
- ・SNSの活用

X(旧Twitter)、Facebook、Instagram、及びnoteを使用したブログにて随時発信
LINE公式にて、登録者に情報発信

■ 支部活動

- ・北海道、東北、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、東海、長野、北陸、滋賀、京都、奈良、大阪・和歌山、兵庫、中国・四国、九州・沖縄の各支部にて活動を実施
- ・「新潟」地区については、現地で準備委員会が発足 2025年度社員総会にて再建予定

■テーマ別研究会

・「自閉症の発達論的アプローチ」「災害支援研究会」「ふれあいプログラム研究会」の3研究会が活動

■つながりグループ

・「親子早期関係支援」「子どもの居場所づくり」「地域と家庭の乳幼児発達支援」「外国に繋がる児童・生徒の発達支援の臨床現場から」「きょうだい支援の仲間集まれ!」「小児臨床発達相談(心理相談・育児相談)」「乳幼児分野」「学齢期の子どもの学習支援」「発達障害児のママ、パパ、先生を対象としたオンラインサロン(を運営する仲間)」「大人の発達障害の就労支援」「多文化・多言語で育つ子どもの発達について考える会」「ジェンダー・セクシャリティの問題と発達支援」「知的障害を持つ方の選択決定支援」「教育職としての臨床発達心理士」のグループが呼びかけられた。活動が始まっているグループもある。

・第20回全国大会にて、4グループが情報交換会を開催

■災害支援

・機構と「能登半島地震災害支援合同本部」を立ち上げ、7月4日 9月11日 合同本部会議

■危機支援に関して最高裁への協力

・子の引き渡し強制執行補助者を16名推薦し、最高裁判所の名簿に登録

■求人案内

・求人の紹介 138件(209件)

■会員数など

2025年5月21日現在、正会員 3940(3653)名 準会員 26(14)名 賛助会員 3(1)団体

2024年度の退会者 59名

■業務委託

- ・事務局業務全般 株式会社国際文献社
- ・「臨床発達心理実践研究」の発行業務 共立印刷株式会社
- ・研修会のオンライン配信等 株式会社コムラ

■附属明細書

該当事項なし